

がんわケア Press

たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟 広報誌

2016年
12月
vol.25



日本緩和医療学会認定研修施設
在宅療養支援病院

発行:たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66
tel:(092)691-5508(代表)

<http://www.tatara-reha.jp>

がん性疼痛看護認定看護師として



{ たたらリハビリテーション病院緩和ケア病棟 / 三船瑠美 }



私は、がんの痛み、苦痛を抱えておられる患者さんやご家族の力になりたいと思い、2014年に**がん性疼痛看護認定看護師**になりました。

痛みや苦痛がコントロールでき、少しでも穏やかに過ごしていただけたらと考えています。

入院してこられる方の中には、「死ぬのは怖くない、覚悟をしている。でも、痛くないように、きつくなないように穏やかに過ごしたい」と思いを打ち明けられる方もおられます。一方で、「もっとできることはないだろうか?」、「死ぬのをただ待つだけなんだろうか」と葛藤を抱える患者さんやご家族も多くいます。

私たちは、**患者さんの個別性を尊重**し、ご希望に添えるように、医師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリ療法士、音楽療法士、栄養士など多職種と相談し、共働しながら、患者さんとご家族をサポートしていきます。



がんの痛みへの対応は、ただ機械的に薬を処方するだけでは不十分です。いつ、どの程度、どのように痛いのか、持続時間はどうか、頻度はどうかなどを振り返ることが、医師の処方の選択や組み立てに役立ちます。また、親しい人との会話、家族との関係、仕事の気がかり、不安感、睡眠などによって痛みの度合いが変わってきます。そして、その要素は患者さんごとで違います。看護師などが話を聞いて、患者さんの個別性を考えて、チームで対応することが何より大切だと思います。

私は、資格をとったあとに結婚しました。そしてすぐに出産、子育てをしながら働いています。患者さんやご家族に学びながら、人生のものがたりを紡いでいきたいです。

認定看護師
とは?

日本看護協会が認定する看護師資格です。より専門的な分野について定められた教育を修め、認定審査試験に合格して得られます。その分野の看護の実践、指導、患者・家族やスタッフからの相談を受け、看護活動の質の向上を目指します。当院では、がん性疼痛看護認定看護師2名、緩和ケア認定看護師2名、感染管理認定看護師1名、認知症看護認定看護師1名を養成しており、それぞれの分野でがんばっています。

こころの部屋ノート ご家族の言葉



当院の緩和ケア病棟には、病室とは別に、「こころの部屋」と名付けた部屋があります。患者さんやご家族が病室ではなく、ひとりになりたいとき、本が読みみたいときに自由に利用します。また、だれでも書くことのできるノートを置いています。

今回は、そのノートに記された、主にご家族の言葉を紹介します。

